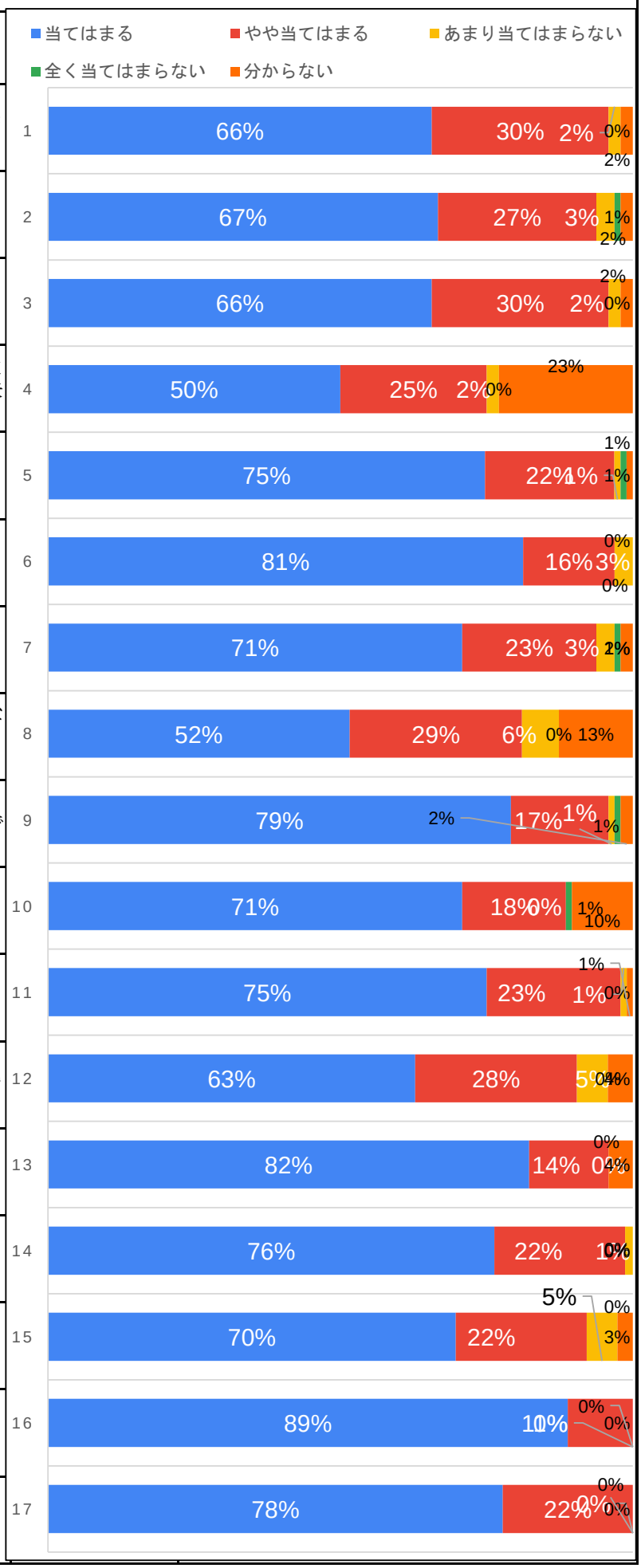
別紙2　　令和4年度　学校評価集計結果（保護者）

評価基準《 4：あてはまる　3：ややあてはまる　2：あまりあてはまらない　1：全くあてはまらない
0：わからない 》

	評価項目（観点）
1	学校では，教育方針や教育内容について，保護者に分かりやすく伝えられている。
2	児童生徒は，学校に行くことや訪問教育を受けることを楽しみにしている。
3	職員は指導や支援に，特別支援教育の専門性を生かして，児童生徒を理解し，指導支援に取り組んでいる。
4	学校では，ICT機器の活用などを通して，児童生徒が生き生きと主体的に取り組む授業の工夫をしている。
5	職員は，児童生徒に対して人権に配慮した言葉遣いや関わり方をしている。
6	日ごろの児童生徒の学校生活の様子を連絡帳等や学部・学年だより，週報などで，知ることができる。
7	教育相談や進路相談は，相談しやすい雰囲気で受けられる。
8	進路に関する情報は，発達段階や障害種などを考慮して発信され，丁寧な進路指導がなされている。
9	職員は，児童生徒の健康状況についてよく連携し，健康管理及び健康増進に取り組んでいる。
10	学校は，交通安全や火事・災害時の避難などの安全指導の充実に努めている。
11	学校は，コロナウィルス感染防止について，検温や消毒，または学習内容・環境の工夫などに適切に取り組んでいる。
12	校内の施設設備は，児童生徒の実態等に配慮して整備されている。
13	徴収金等は，適切な目的で使われている。
14	通学バスは，安全な運行がなされている。(74人回答)
15	通学バスの職員は，保護者と連携が図られている。(74人回答)
16	寄宿舎では家庭・学校と連携して寄宿舎生の生活力の向上を図る取組がなされている。(8人回答)
17	寄宿舎では，寄宿舎生の健康状況の把握と安全面に配慮した取組がなされている。(8人回答)